



取手駅
西口

「A街区再開発」

2月都市計画決定は破談？



2月都市計画決定を予定した再開発予定地（左側造成地）

取手駅西口前（A街区）に予定した、再開発事業（高層マンション・複合公共施設等）の2月都市計画決定は、事実上の破談に追い込まれたと見られます。計画立案が始まって約10年、実施段階までに時間を要し、資材高騰など経済変動をもろに受けました。民間施行とは言え、関係権利者は、20人から事業参加は8人に、さらに減少

する事態に。当初から、権利者の同意も開発手法も定まらないまま「再開発事業」を主導した市の責任は免れず、都市計画決定権者としての市長の責任が問われることとなります。取手市のトップダウンの再開発ビル内への複合公共施設導入方針も、地権者の同意をより困難にしました。

A街区土地利用計画再検討を
公共施設導入はきつぱり中止

交通広場は広くなった ▲送迎用停車スペース狭く

総事業費220億円の区画整理事業を終えた西口前の交通広場面積は、1000㎡広くきれいになりました。車での利用者から「通行の順路が解りにくく危険」「送迎用停車スペースが狭く、ラッシュ時

に混雑」などの声が寄せられています。

1月16日、日本共産党加増議員と市民10人で現地を見学・調査しました。

バス運転手から「一般車と交差の際一時停止し

ない車があり危険、停止線を分かり易く引いて」との声。又、交通広場全体に「路面標示が分かり難い」「新設エレベーターの向きが悪い」「西友前の歩車道の段差解消とエレベーターの壁に時計の設置



狭くてラッシュ時は混雑して危険な停車スペースなどの声を受け、現地調査する加増議員(右)と市民＝1月16日、取手駅西口

等、改善・要求が多く出されました。

日本共産党は引き続き安全・便利な駅前づくりに市民の声を届けます。

日本共産党

42億円

国保基金

記録的な物価高騰の中、市民の暮らしは悲鳴を上げ、高い健康保険税(料)と窓口負担で、健康が脅かされる事態も起きています。そんな中で取手市国保は現在42億円(1

世帯当たり28万円)の基金をため込んでいます。「会計年度ごとに独立して運営」という財政の原則を踏み外し、それが約10年間常態化してきました。被保険者に過大な



市長あて要請書を副市長に手渡す右から遠山・加増・本田議員＝1月27日、市役所

国保税大幅引き下げ、後期高齢者支援拡充

中村修市長に要請

納税を求める取手市国保運営の過ちがこのような結果を招きました。

党市議団は、今の深刻な経済下で、市民の健康と暮らしを守る3項目の実行を要請しました。

①取手市国保会計の過大な基

日本共産党市議団

金を抜本的に取り崩し正常な運営に転換すること。

②基金の活用で国保税の大幅な引き下げを行うこと。

③基金の相当額を一般会計に繰り出し、後期高齢者の健康と暮らしを守る政策を行うこと。

後期高齢者向けに国保基金活用を

2022年取手市は、国保税の賦課方式変更と合わせ、基金44億円の一部活用で、総額3億7千万円引き下げ、さらに2024年までに子どもの均等割を全額免除しました。それでも、国保会計は大幅黒字を続

け、基金残高は2024年度決算見込みで42億円と、値下げ前とほぼ変わりません。再度の値下げが可能です。

国保基金には、現在の後期高齢者(元国保加入者)が当時納めた国保税の一部が含まれて

います。

国保税引き下げを求める声とともに、後期高齢者に移行した市民からの「取り過ぎた税は、住民税などに準じて返還して」という声は当然の要求です。

国保基金

一般会計に繰り出し活用を

取手市国保会計には、一般会計から国保会計への繰り入れを行います。12月議会の、遠山ちえ子議員の国保基金の一般会計への繰り出しについての質問に「法律・条例に違反するものではない」とする市の答弁も示されています。

日本共産党は、国保基金を活用し、国保税引き下げと合わせ、一般会計への繰り入れで後期高齢者への支援を求めます。

取手市国民健康保険 歳入・歳出決算 基金の推移 (令和元年度から令和6年度・取手市資料より)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)
基金積立	400,000,000	500,562,943	1,050,000,000	1,000,000,000	500,000,000	1,177,571,000
歳入-歳出	1,014,293,624	1,408,462,180	1,295,014,721	864,725,809	1,070,011,808	
基金残高	2,272,631,335	2,773,194,278	3,793,485,278	4,423,323,278	3,977,834,278	4,217,546,278

市民と懇談する左から、
本田かずなり・加増みつ子・
遠山ちえ子議員



「市民要望を聞く会」開催

日本共産党市議団

日本共産党市議団は1月26日、「市民要望を聞く会」を福祉会館で開催、市民と懇談しました。懇談の中で、「身近な道路などの補修、生活道路の整備を」「取手駅西口は今どうなっているの?」「ケアマネージャー不足で施設は自分で探すようにと言われた」「地域猫の保護活動にもっと行政の支援を」など要望が次々出され、国民健康保険会計にため込まれた過大な基金の使い方についての議論も活発に行われました。

日本共産党は、寄せられた、暮らしや健康、まちづくりなど切実な市民要望の実現に皆さんと力を合わせます

さらにご意見・要望お寄せください。

日本共産党取手市委員会



7月参院選 日本共産党比例5議席、選挙区躍進で参院でも自公与党の過半数割れへ

日本共産党は比例代表で、はたやま和也さんはじめ5人全員と、東京、埼玉、京都選挙区の現職に加え、茨城から高橋誠一郎さんを国会に送り出す為全力を尽くします。

比例は日本共産党、選挙区は高橋誠一郎さんへのご支援をどうぞよろしくお願い致します。



はたやま 和也

日本共産党 参議院比例予定候補者
(北海道・東北・北関東担当)

1971年宮城県生まれ、宮城教育大卒
2014年衆院選比例北海道ブロックで初当選
現在党中央委員、北海道委員会副委員長

高橋 誠一郎

日本共産党
参議院茨城選挙区予定候補者

1994年千葉県生まれ
茨城大卒、元しんぶん赤旗記者
現在党県常任委員、政策委員長



制度解説

参議院 比例代表は **日本共産党** と個人名でも投票できます

第217 通常国会開会

裏金で動く政治終わらせ、願いにこたえる国会へ

国会内外で暮らしの困難打開へ市民運動と結んで **日本共産党**

衆院選で自公過半数割れの国会、国民の要求を実現する可能性が開ける中、通常国会(1月24日開会)が始まりました。日本共産党は、暮らしの困難打開など要求実現へ国会内外で国民の運動と結び政治を前に進める決意です。物価高騰に見合う給与と最低賃金引き上げ、社会保障は切り下げでなく拡充へ、日本共産党は、国民の切実な要求実現のためのあらゆる政策を財源論とセットで提案しています。

野党の立場が問われる 2025年度予算案の論戦と態度

各野党からも減税策や、教育費無償化などを求める声が上がっていますが、財源の裏付けもなく部分的改良をアピールする

だけでは、結局、自公政権に手を貸すことになり、国民の真の願いには応えられません。

自民党は与党過半数割れの危機を乗り越えようと一部野党を取り込み、大軍拡、財界の要求に応える政治を加速する狙いです。

「財界・大企業中心」「日米同盟絶対」の自民政治に対峙する日本共産党

国民要求の実現には、自民党の裏金事件に象徴される「企業献金と一体の財界中心の政治」、経済も安保・外交も「日米同盟絶対」という自民党政治の

大本を質す必要があります。

通常国会では、現状を変えたいという先の総選挙での国民の意思にこたえるのか、行き詰まった自民党政治の延命に手を貸すのか、厳しく各野党に問われます。

「あなたの声を届けます」要求アンケート2025 実施中

あなたの声が
政治を動かします。

私たちの党の政策・国会質問は、皆さんの声をもとにつくられます。

日本共産党は、一人ひとりの暮らしの不安、お困りごとの解決のために

全国でアンケートを実施しています。皆さんから寄せられた声をふまえて党の政策を作り、実現をめざしてがんばります。

あなたの願いをぜひお寄せください。

アンケート用紙などご用命 連絡は、
日本共産党取手市委員会 0297-72-7816



Webからも回答できます
こちらからアクセスしてください

取手駅前開発を考える会 ホームページ

取手駅前開発と図書館など、駅前整備と取手市の街づくり、図書館の在り方などについて学習し、行動している市民団体です。

会は、日本共産党とも共同する取手駅前開発と図書館を考える会のホームページをご覧ください。

取手駅前開発を考える会連絡先 090-6542-4525 比嘉恒雄

